

「大すきなお米」

長江小学校 三年 まっしげ めいな

わたしは、ごはんが大好きです。とくにた
きたてのごはんは、あまくてほくほくしてい
て、おがずやふりかけがなくとも、いもお
茶わん二はいは食べています。

小学二年生の時、学校の生活のじやぎよう
で、もち米やいねかりの勉強をしました。小
さななえから、もち米になる事を知ってひっ
くりしました。

五月になえを植える時、「元気に育ってね
」と思いながらうえました。田んぼは、土がべ
とべとして歩くのがむずかしかったです。す
ずめなどの鳥たちにもち米が食べられないよ
うに、みんなでかかしを作って、田んぼに立
てて、もち米ができるのを守りました。

十月になってもち米ができたので、いねか
りをしました。あんなに小ヤかったのに大き
く茶色になって、たくさんのもち米ができて
いました。いねかりは、むずかしくて上手に

できなかつたけど、地いきのおが田さんが、「下の方を一、二、三でかつたらいいよ。」と教えてくださいました。教えてもらったから上手になることができました。だっ、こくしたもち米は、学校でおはぎにしてみんなで食べました。みんなで作ったおはぎは、「おいしかつたです。わたしたちの作ったもち米がら、おもちになることも知りました。」わたしのおじいちゃんはおもち屋さんです。おじいちゃんの家に行くと、もち米をたいたいおにいがします。わたしは、そのにおいかすぎでずつといたいくらいです。おじいちゃんはおもち米を使っておもちを作っています。おじいちゃんのおもちも、わたしの作ったもち米と同じように作られている事が分かりました。

わたしは、「ごはんを食べる時ももちを食べる時も感じやしなから食べたと思います。」おいしいお米を作ってください、「ありがとうございます。」